

# 練馬・文化の会 会だより

共同代表：有原誠治 大内要三 小岩昌子 小沼稜子 吉田巳蔵

事務局：巒田英夫 TEL：03-3948-5129 FAX：03-3948-5129

(会費などの郵便振替：00150-7-130265 練馬・文化の会) ホームページ <http://www.nerimabunka.com/>

## 時代に翻弄されたエゴン・シーレ



作家黒井千次が「永遠なる子供」と評したエゴン・シーレの絵画展が、上野の都美術館で開かれている（4月9日まで）レオポルド美術館所属の絵画展であり、クリムト及び当時のウィーン分離派の作家の作品と一緒に並べられている。

エゴン・シーレを实际見たのは1979年西武美術館であった。その時の「衝撃」は今も忘れられない。研ぎ澄まされた精神に驚きしかなかった。

その後、ウィーンにまで行き、分離派美術館などで再会して、ますます好きになった。

エゴンシーレは、1890年、ドナウ河畔のトゥルンに2人の姉と1人の妹の間に生まれた。父は、鉄道駅の駅長だったが、梅毒ですでに3人の子供を失い、長姉も10歳の時に失った。彼の作品のなかで常に「死」を感じさせるのは、こうした家族の影響か。

音楽家のチャイコフスキーは、93年に亡くなるのであるが、彼の曲で例えると若い時は「協奏曲6番(悲愴)」に例えられるのかと思っていたが、今では「協奏曲5番」でないかと思う。「悲愴」はまさに静かなトーンから入り、最後までまた弟の死の影響を醸し出す音で終わっているが、「5番」は、最後に希望を見出すように盛り上げている。

確かに28歳の若さで亡くなったシーレは、「悲愴」に近いが、突然の死は、やり残したことと、今後の希望を託した「5番」ではないか。

彼が生まれた前の年は、明治憲法が公布された年ですし、89年には第2インターナショナルが結成され、90年にはゴッホがなくなり、95年にはエンゲルスが死亡した。20世紀に入るとアインシュタインが特殊相対性理論を発表、日英同盟が結成され、日露戦争が勃発し、「血の日曜日」が起こった。

子供の時から異彩を放ったシーレは、6年にウィーン美術アカデミーに合格し、翌年、翌翌年にはヒトラーが2年続けて不合格になった。そこで恩師クリムトと出会い、その影響を受ける。

その後、自画像のデッサンを中心に「自己を見つめる」精神状態に入る。父親が、その後精神を病み、「精神錯乱」「死の苦しみ」を表す。同時期、日本では、大正時代が始まり、14年には第一次世界大戦が勃発した。

その後クリムトを師と仰ぎながらも距離を持ち、女性の裸婦を中心に描き始め、誤解から警察に捕まることともなった。今回のシーレ展ではあまり飾られなかったが、多くの作品は、公序風俗の名目で世間から冷たい目でみられた。確かに僕もウィーンで多くのデッサンを買ってきて、家で飾っていたが、「子どもに悪い」とか言われて、いつの間にか倉庫に眠ってしまっている。

家族、裸婦、二重の自画像に見られるある種「ナルシズム」を追求したシーレは、あくまで「個」の追求の途中で夭折した。黒井が語った「永遠なる子供」とは、これから「子供」のままであるのか、「青年」「成年」になっていくのか28年間を切り取った言葉ではないかと思う。

時代に翻弄され、時代と共に生きたエゴン・シーレは、ハプスブルグ家の崩壊、ロシア革命をみて、戻った分離派展での大成功を喜んだのもつかの間、当時流行したスペイン風邪にかかり、妻エディットと6か月の胎児が亡くなると、同じ病で3日後に本人も亡くなった。同じ年に亡くなった師と仰ぐクリムトを追いかけるようだった。

死後長い間、シーレの評価は分かれていたが、今や「官能のクリムト」と共に今や生き返ったエゴン・シーレは、今の時代に「突き刺さる絵」で我々に問いかける。

(森田彦一)



## ねりまイースト28 (仮) 結成へ呼びかけ

練馬区では、市民と野党の共同で、立憲主義を守りまともな政治を行う国会議員を衆議院に送り出そうと2015年から取り組みを初め、2021年の総選挙では東京9区（練馬区中西部）で山岸一生さんをみんなの力で当選させることが出来ました。また、東京10区（練馬区東部）では鈴木ようすけさんは小選挙区では当選できなかったものの比例代表で復活し、市民と野党の共同の国会議員として活動されています。

このたび公職選挙法が改正され、衆議院小選挙区の区割りが大きく変更されました。ほぼ笹目通りで東西が二分され、西側が新9区、東側は新しい選挙区28区となります。そして10区に練馬区は含まれなくなりました。新9区では引き続き山岸さんが活動を継続されていますが、28区についても、市民と野党の共同で、政策協定に基づいた候補者を支援し、国会に送り出し

たいと考えています。

いま、岸田政権は、国民の声を踏みにじり、これまで歴代政府が掲げてきた「専守防衛」を投げ捨て、攻められていないにもかかわらず他国を先制攻撃する可能性のある防衛政策に転換しました。まさに危機的状況です。

また、生活防衛の面でも日常の物価高と賃金が上がらない状況で生活破壊が増しております。こういう中、新28区の市民組織をみんなで作り上げたいと思います。先日、準備会を開き、「結成の呼びかけ」を出しました。

新しい28区は「ねりまイースト28(仮)」と呼び名を決め、新しい呼びかけ人を集めております。是非、ご参加ください。

第2回の準備会を16日(木)6時半からココネリ研修室2西側で計画しております。

(問い合わせ：森田彦一まで)

## 岸田政権は独立性を壊す「学術会議法」改悪法の提出を断念せよ 大学を国家の御用機関にしてはならない！

学問の世界では学説を多数決で判定しない。してはいけない！

学問の世界では新しい真理は必ず少数意見として登場するから。

だから、「政府は学界を支援するが口を出さない。」が、世界の流れ。

日本国憲法23条は「学問の自由は、これを保障する。」と、規定している。

学術会議が「独立して職務を行う」（学術会議法第3条）ことは、戦前の学術研究会議（学術会議の前身）が政府の御用機関になって科学者を戦争に動員した教訓から定められたものです。独立性の破壊は、学術会議の存在意義を失わせます。

大学は教育と研究の場であり、社会の規範となるべき存在だと多くの人は思っている。

だが今、国による統制やトップによる独裁化が進み、「大学が壊れてしまった」。

2004年小泉政権下で行われた「国立大学法人化」、「私立学校法の改正」。安倍政権下での「学校教育法改正」。教授会を諮問会議に降格。学長選考では教職員が決定する仕組みから「学長選考会議」が決定する仕組みに。防衛省の「安全保障技術研究推進制度」という名の研究補助金の新設。「科学技術・イノベーション基本法」の改正。文科省の「国立大学法人の戦略的な経営実現に向けて」の提言。「国際卓越研究大学」作りに毒まんじゅうの「10兆円の大学ファンド」。「改正大学設置基準（省令）」の施行。菅政権の「学術会議の任命拒否」続いて岸田政権が今国会で狙っているのが「学術会議法の改悪」。経済と学問を軍事に動員する「経済安全保障法」。雇用破壊やパワハラ・セクハラの増加傾向。等々、大学へ土砂降りの攻撃が続いています。

極めつけが、今国会提出予定の「学術会議法

改正」です。

今、岸田文雄政権が日本学術会議の独立性を壊す重大な法改悪を企てています。

学術会議は昨年12月21日の総会で「強く再考を求めたい」とする声明を採択しました。2月22日の内閣府からの「検討状況」説明についての懸念事項の文末には「現在のような形で法改正が強行されるならば、それは日本の学術の「終わりの始まり」となりかねないことを強く憂慮する。」で、結ばれている。学術会議が再考を求めた声明には学会や研究者らが引き続き支持表明が出ています。

2月19日ノーベル賞などを受賞した日本人研究者8人が、日本学術会議に対する政府の改革方針について「性急な法改正を再考し、学術会議との議論の場を重ねることを強く

希望する」とする声明を出した。声明では、各国のナショナルアカデミーは、その国の学術を代表するとともに世界の学術界と連携し「人類の福祉に貢献する国際的公共財を構成」していると強調。先進国の政府は、ナショナルアカデミーの活動の自律を尊重し介入しないことを不文律にしてきたと述べ、日本での首相による学術会議の会員任命拒否を「大変憂慮」し、今回の「法改正」に「大きな危惧」を抱いていると表明しています。

受賞した日本人研究者の8人は、2014年に物理学賞を受賞した天野浩さん、2016年に生理学・医学賞を受賞した大隅良典さん、2008年に物理学賞を受賞した小林誠さん、2000年に化学賞を受賞した白川英樹さん、2010年に化学賞を受賞した鈴木章さん、2001年に化学賞を受賞した野依良治さん、2018年に生理学・医学賞を受賞した本庶佑さんと、数学のノーベル賞と呼ばれる「フィールズ賞」を1990年に受賞した森重文さんの8人です。

2月14日には学術会議歴代会長5名が「岸田種

層に対し日本学術会議の自主性および独立性の尊重と擁護を求める声明」を発表した。

自民党提案の中身。介入の仕組みを法制化  
内閣府の「検討状況」によれば、法改定で選考諮問委員会を新設します。学術会議の会員、連携会員以外で構成し、会員候補の選考プロセスや内容について意見を述べることができ、学術会議はそれを尊重しなければなりません。

同委員会の委員は「広い経験と高い識見を有するもの」とされます。研究実績のある科学者以外の政府や経済界の関係者が会員選考に介入できることとなります。委員任命に至る手続きに政府が関与することも否定していません。学術会議が自律的に独立して行う選考に重大な制約を課すものです。

しかも、学術会議が選考諮問委員会の意見と異なる選考を行った場合は、それを口実に首相が任命を拒むことにつながります。任命拒否を正当化する仕組みの法制化にほかなりません。

ひとりでも多くの方が「学術会議法改悪法」提出を断念させるために声を挙げて行きましょう!!

#### <資料> ノーベル賞受賞者等の声明

「日本学術会議法改正につき熟慮を求めます」

学術は人類が手にしている崇高な知的営みであり、その発展は人類の進歩と福利を実現するための不可欠の条件です。各国にはナショナルアカデミーが存在し、それぞれの国の学術を代表するとともに、世界の学術界と連携することにより、人類の福利に貢献する国際的公共財を構成しています。成熟した先進国の政府は、ナショナルアカデミーの活動の自律を尊重し、介入しないことを不文律にしてきました。

一方、日本におけるナショナルアカデミーである日本学術会議については、2020年に内閣総理大臣による会員任命拒否が起り、政府と学術界の信頼関係が大きく損なわれたままになっていることは、大変憂慮されます。

さらに現在、政府において日本学術会議法の改正が検討されていると伝えられています。今回の法改正が、学術会議の独立性を毀損するおそれのあるものとなっていることに対し、私



私たちは大きな危惧を抱いております。これは単に内閣府と日本学術会議との二者の問題ではなく、学術の独立性といった根源的かつ重要な問題につながるものです。

私たちは、日本が、学術を通じて人類に貢献し世界に知的な存在感を示す国であることを願っ

ています。

ナショナルアカデミーとしての日本学術会議がその任にふさわしいものとなるように、政府は性急な法改正を再考し、日本学術会議との議論の場を重ねることを強く希望します。

令和 5年 2月 19日

## 美術館問題の現状と課題

眞嶋康雄 文化の会幹事「練馬美術館を考える会」事務局



前回の報告後、12月に「プロポーザル方式」による設計業者選定を行い、今年1月23日に設計業者は平田設計(株)に決定との発表が

区議会災害特別委員会で行われ、私たち関係者は傍聴に行きました。

その中で、野党系と言われる議員からは明確な「美術館基本構想」に対する「撤回・中止」の主張はなく、「プロポーザル募集要項」に沿った適切な質問ではなく、自民党区議から「反対なら反対と言え」などと言うヤジが飛び、隔靴搔痒の感がありました。また、土木部長やまちづくり整備課長から「工事費の上限は設けない」という重大な発言もありました。2月区議会でも来年度の基本設計予算の計上に関する質問もなく、美術館問題に関して区議会は無風状態です。

昨年12月に「美術館を考える会」が500部刊行した冊子「どうする、どうなる練馬美術館」は、お蔭様で現在350部が頒布されており、各方面から好評の

ご意見を頂いています。美術館問題に止まらず、地方自治、地域主権に係わる財政・税源にも言及し、文化・芸術と住民自治の民主主義の在り方を提起しています。

現在、焦眉の課題は美術館新築増築に係わる各施設の利用中止の問題です。今年後半にも中村橋区民センターとサンライフ練馬の「事前調査」工事が始まり、美術の森緑地も含め、この3施設が利用中止になります。

更に、サンライフ練馬の廃止に伴う取壊工事が美術館・図書館と同時に行われるために、やはり「事前調査」工事が来年後半から始まり、これら2施設も利用中止になります。

貫井図書館56万人、緑の緑地32万人、美術館8万人にサンライフ練馬7万人の年間利用者が全く代替施設の無いまま、4年間から5年間利用が不可能になるという深刻な事態が起こることが、9割以上の区民に知らされていません。

また、工事費は「81億円を下限として上限を設けない」としながら、「給食費無償化対象は第二子以降」などと「上限を設ける」ダブルスタンダードでトップダウンの区政が横行しています。様々な住民サービスを切捨て、1,205億円もの基金を1点豪華主義の大規模再整備計画に浪費するのではなく、「美術館より給食費完全無償化」「美術館より小中学校改築」「美術館より子育て支援」などが区民の要求です。

「カネも権限もあるが時間が無い」区長には焦りがありますが、1,205億円の区民の貴重な財産を美術館新築増築などの財源にせず、区民の生活環境改善のための財源にする財政改革が必要になっています。文化の会では、来る4月5日(水)に「第5回連続学習会」を開催予定、その中で美術館問題と練馬区政を知り、美術館再整備構想に対して区民の様々な意見と要求、「整備構想」に代わる政策も提案する場にしたいと考えています。

詳しくは、「会ニュースNO.2」と「第5回公開講座お知らせチラシ」をご覧ください。

